

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	当院手術センターにおけるエマージェンシーコールの要因と対応：データベースを用いた後方視的検討 [倫理審査受付番号：第 3363 号]
研究責任者氏名	植木 隆介
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木敬一郎
研究期間	2019年11月26日～ ～ 2026年3月31日
研究対象疾患・診療科名	疾患名： 手術を受ける対象疾患すべて / 診療科名等：外科系
研究対象期間	受診日：西暦 2008年10月1日～ 2019年6月30日
研究に用いる試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報（診療の過程で取得） <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他
研究目的・意義	周術期の麻酔管理は近年より安全になっています。まれに起こる緊急コールに対して過去の事象がどのような状況（周術期のどの時間帯で、どのような要因で緊急コールを鳴らしたか、診療科、時間帯、曜日など）で起こっているのか集計、検討をします。そして今後起こり得る緊急コールへのよりよい対応につなげることが目的です。
研究の方法	当院の手術センターで、2008年10月1日から2019年6月30日の10年9か月の期間に起きたエマージェンシーコールを後方視的に集計、検討します。集計方法は当院採用の電子カルテシステム ORSYS の検索エンジンでリマークス欄の“エマージェンシー”もしくは“emergency”つまり「手術室内での緊急コール」と記録されたカルテを集計する方法です。上記方法で抽出された70例を用いて検討します。収集する項目は、まず背景、原因、事象、評価、対応があり、加えて、血圧、体温、心電図、パルスオキシメトリー、カプノグラフ、担当医の経験年数などがあげられます。
個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する連絡先	診療科名等：麻酔科 研究責任者氏名：植木隆介 [電話]（平日8時30分～16時45分）0798-45-6392 （上記時間以外）0798-45-6111